

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
221331064	栄養教育論実習 I Practice in Nutrition Education I	田中 優成			1	必修	3前期

科目の概要

管理栄養学科では、社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を基盤とし（DP2）、管理栄養士に不可欠な専門的知識・技能を修得するとともに（DP3）、人々の日常生活を健康の面から支援できる実践力を備えた人材の育成を目指している（DP4）。さらに、建学の精神を基盤として、社会人基礎力、pisa型学力、直観力、自然体を統合的に涵養し、社会の中で主体的に行動できる力を育むとともに（DP5）、生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場や地域、国際社会における課題解決に貢献できる力を身に付けることを重視している（DP6）。

それらを実現するために本科目では、対象者の行動変容を促す栄養教育を基盤に、栄養教育プログラムの立案・実施・評価の一連の過程を体系的に身につける。その過程において、事前調査やアンケート等から得られるデータを基に、数値や分布を読み取り、課題を把握した上で栄養教育の内容を検討するなど、根拠に基づく判断の基礎を学修する。具体的には、実際の栄養教育プログラムを想定した媒体の作成や既存資料の活用を通して、対象者や場面に応じた栄養教育の企画および準備の方法を学修する。

学修内容	到達目標
① 各ライフステージにおける栄養教育の違いを理解する ② 各ライフステージにおける栄養教育内容と適切な情報収集の方法を理解する ③ 調査やアンケート等から得られるデータを基に、各ライフステージにおける栄養教育の課題を把握し、計画立案に活用する基礎を理解する	① ライフステージに応じた栄養教育のポイントを理解し、それぞれの違いについて説明できる ② ライフステージに応じて適切な栄養教育の方法を選択し、アセスメントによって得られた情報を適切に活用できる ③ データを基に課題を把握したうえで、ライフステージに応じた適切な栄養教育計画を立案することができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	実践に向けた具体的な草案を自ら考え、自発的に授業に臨むことができる
	働きかけ力	
	実行力	栄養教育プログラムを作成するにあたり、文献や図書、インターネット等の情報を正しく収集することができる
考え抜く力	課題発見力	栄養教育プログラムを作成するにあたり、出てきた疑問や課題について、適切な情報源から新たに知識・技能を獲得して、更なる課題を発見することができる
	計画力	
	創造力	従来の常識や発想を転換し、自分にしかできない栄養教育を見出すことができる
チームで働く力	発信力	他の人がどのようなことを求めているのかということを理解し、獲得した知識・技法を他の人にわかりやすく伝えることができる
	傾聴力	他の人がどのようなことを考えているのかを汲み取り、多様性を理解した上で更に自分の考えに踏襲することができる
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	決められた締め切り時間やグループ内のルールを把握し、そのルールや約束を守ることができる
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

- ◎ マスター栄養教育論 四訂 編著：佐藤香苗/安達内美子 出版社：建帛社
- ◎ 栄養教育・栄養指導論演習・実習 [第3版] 編集：堀田千津子他
- 糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版 編・著：日本糖尿病学会
- 日本人の食事摂取基準2025年版 厚生労働省「日本人の食事摂取基準」策定検討会報告書 監修：佐々木敏

他科目との関連、資格との関連

【他科目との関連】

本科目は、「栄養教育論Ⅰ」で獲得した知識を活用し、「専門実践実習」や「栄養教育論実習Ⅱ」に向けて栄養教育の基礎を実践的に学ぶ。

【資格との関連】

管理栄養士 栄養士 栄養教諭

学修上の助言	受講生とのルール
栄養教育論Ⅰで修得した知識・技能の活用法を実習で学修します。これまでの授業で出てきた基本的な語句の説明をする時間はないため、栄養教育論Ⅰで学修した行動科学の理論・モデルの概要、行動変容技法やカウンセリング技法等基本的なことはきちんと復習してから授業に臨みましょう。	本授業はグループワークや個人で作成した内容をグループで共有することも多くなります。栄養教育の練習として必ず授業内では発言することや他の人の意見を積極的に取り入れることを心がけましょう。また、授業内で決めたことはきちんと守り、提出物は必ず期限内に提出しましょう。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
		レポート		60	①		✓	計6回のレポート×10点=60点 評価の観点はその都度Classroomにて提示する。 発揮するpisa型学力の構成割合 (獲得) 10% (活用) 40% (解決) 50%
					②		✓	
③					✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			30	①		相互評価2種×10点+教員評価1種×10点=30点 評価の観点はその都度Classroomにて提示する。 発揮するpisa型学力の構成割合 (獲得) 20% (活用) 30% (解決) 50%		
				②				
	③							
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	(主体性) 自発的に取り組むことができる (実行力) 教材作成や資料作成など粘り強く取り組むことができる (課題発見力) 情報収集や分析をして課題を明らかにすることができる (創造力) 新規性に富んだ資料の作成を行うことができる (発信力) 作成する教材や発表する内容の工夫点を自ら説明することができる (傾聴力) 他の人の発表や意見をよく聴き、改善に向けて努力することができる (規律性) 授業が円滑に進行するように時間やルールを守ることができる			
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合		100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>栄養教育論 I で修得した知識を活用し、到達目標の①～⑤を達成するために、栄養教育の立案や栄養教育教材の作成に意欲的に取り組むことができ、且つ学修成果及び学修行動の得点率が90%以上をS、80%以上をAとする。</p>	<p>栄養教育論 I で修得した知識を活用し、到達目標の①～⑤を達成するために、栄養教育の立案や栄養教育教材の作成に意欲的に取り組むことができ、且つ学修成果及び学修行動の得点率が70%以上をB、60%以上をCとする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「オリエンテーション」 授業の運営、目標、評価方法等を理解し、伝わりやすい栄養教育とはどのようなものかを考える	グループワーク ディスカッション	伝わりやすい栄養教育のために必要なものを説明できる	予習：栄養教育論Ⅰで学修した行動科学の理論・モデルを復習することを推奨する 復習：他の人の話し方や伝え方を参考に、自身がどのようにすれば伝わりやすかったかを振り返ることを推奨する		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	「行動変容段階に応じた栄養カウンセリングの実践」 行動変容技法や栄養カウンセリング技法を活用した栄養カウンセリングを実践する アイスペイクを考案し実践する	グループワーク ディスカッション レポート	行動変容段階を見極めて適切な栄養カウンセリングを行うことができる	予習：トランスセオレティカルモデルの理解が不十分である場合は、復習してから授業に臨むことを推奨する 復習：授業で実践した栄養カウンセリングを基に適切な栄養カウンセリング内容を精査することを推奨する		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	「栄養マネジメントの実践」 プリシード・プロセスモデルに基づき、栄養マネジメントを立案する	グループワーク ディスカッション Google forms Microsoft Excel	プリシード・プロセスモデルを正しく活用することができる	予習：プリシード・プロセスモデルの理解が不十分である場合は、復習してから授業に臨むことを推奨する 復習：アセスメントを行うための質問票を再考することを推奨する		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	「栄養アセスメントと目標設定」 栄養アセスメントで得られた結果のまとめ方と目標設定について学修する	グループワーク ディスカッション Google forms	栄養アセスメントで得られた結果を基に適切に目標を設定することができる	予習：対象者の課題に対する優先順位の理解が不十分である場合は、復習してから授業に臨むことを推奨する 復習：授業内容を踏まえ、授業内で設定した目標が対象者にとって適切かを再考することを推奨する		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	「栄養教育教材の活用①」 栄養教育に用いる食品交換表・食事摂取基準の使い方を学修する	講義 グループワーク ディスカッション PCRシート	食品交換表・食事摂取基準を正しく活用できる	予習：食品交換表、食事摂取基準の使い方の理解が不十分である場合は、復習してから授業に臨むことを推奨する 復習：教材を用いた栄養教育事例を考えることを推奨する		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	「栄養教育教材の活用②」 栄養教育に用いる食材カード・食事バランスガイド・フードモデルの使い方を学修する	講義 グループワーク ディスカッション PCRシート	食材カード・食事バランスガイド・フードモデルを正しく活用できる	予習：食材カード・食事バランスガイド・フードモデルを事前に調べておくことを推奨する 復習：教材を用いた栄養教育事例を考えることを推奨する		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	「栄養教育教材の活用③」 栄養教育に用いる情報(文献)の探し方と使い方を学修する	講義 ディスカッション Microsoft Word	栄養教育として適切な情報を取捨選択することができる	予習：栄養に関する論文を探すことを推奨する 復習：教材を用いた栄養教育事例を考えることを推奨する		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	「栄養教育教材の作成①」 Microsoft Wordを用いたリーフレットの作成	講義 グループワーク ディスカッション Microsoft Word (レポート)	Microsoft Wordを利用して対象者にとって見やすいリーフレットを作成することができる	予習：Microsoft Wordの使い方を調べておくことを推奨する 復習：作成したリーフレットを他の人と共有し、改善を加えることを推奨する		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「栄養教育教材の作成②」 Microsoft Excelを用いた図表・グラフの作成 【テーマ】 野菜摂取量の増加に向けた栄養教育	講義 グループワーク ディスカッション Microsoft Excel (レポート)	Microsoft Excelを利用し対象者にとって見やすい図表・グラフを作成することができる	予習：Microsoft Excelの使い方を調べておくことを推奨する 復習：作成した図表・グラフを他の人と共有し、改善を加えることを推奨する		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「栄養教育教材の作成③」 Microsoft Powerpointを用いたスライドの作成と発表 【テーマ】 野菜摂取量の増加に向けた栄養教育	講義 グループワーク ディスカッション Microsoft Powerpoint (レポート)	Microsoft Powerpointを利用し対象者にとって見やすいスライドを作成し発表することができる	予習：Microsoft Powerpointの使い方を調べておくことを推奨する 復習：作成したスライドを他の人と共有し、改善を加えることを推奨する		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「栄養教育教材の作成④」 AIを用いた媒体作成 「栄養教育方法の選択」 学習形態の種類と方法を学修する	講義 グループワーク ディスカッション Google Classroom PCRシート	AIを利用し媒体を作成することができる 適切な場面で適切な学習形態の種類と方法を選択できる	予習：一斉学習、グループ学習のそれぞれの特徴の理解が不十分である場合は、復習してから授業に臨むことを推奨する 復習：症例に対し、適切な学習形態の種類と方法を考えることを推奨する		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	「エビデンスに基づく栄養教育トレーニング①」 エビデンスを収集し、ディベートに向けた準備を行う 【テーマ】 ①小学校の朝食給食を義務化すべきか ②SNSやWeb情報を活用した栄養教育は、対面指導より効果的か ③高齢者の食塩摂取量は減らすべきか	講義 グループワーク ディスカッション レポート/PCRシート	適切な情報収集、説明するための資料の作成を行うことができる	予習：ディベートとはどのようなものか調べておくことを推奨する 復習：ディベートに向けて準備を行う		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	「エビデンスに基づく栄養教育トレーニング②」 班でディベートに向けた戦略を考える	講義 グループワーク ディスカッション Google forms レポート/PCRシート	ディベートに向けて発表戦略を話し合うことができる	予習：ディベートに向けて資料を確認する 復習：ディベートに向けて発表準備を行う		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	「エビデンスに基づく栄養教育トレーニング③」 テーマに沿ったディベートを行い、相互に評価し合う	講義 グループワーク ディスカッション Google forms レポート/PCRシート	収集した情報を基に納得してもらえるように相手に伝える工夫ができる	予習：ディベートに向けて発表準備を行う 復習：自身が行ったディベートや他の班のディベート等を参考に改善点を考えることを推奨する		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	「まとめ」 第1～14週で学修した内容を基にわかりやすい栄養教育とは何かを考える	グループワーク ディスカッション	わかりやすく伝わりやすい栄養教育とはどのようなものか説明できる	予習：これまでに学修した内容をまとめ、疑問点や課題点を抽出しておくことを推奨する 復習：栄養教育論実習Ⅱに向けてわかりやすい教材作りとは、伝わりやすい伝え方とはということ自身で説明できるようにすることを目指す		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
221332065	栄養教育論実習Ⅱ Practice in Nutrition Education II	田中 優成			1	選択	3後期

科目の概要

管理栄養学科では、社会的に自立して生きていく上で必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を基盤とし（DP2）、管理栄養士に不可欠な専門的知識・技能を修得するとともに（DP3）、人々の日常生活を健康の面から支援できる実践力を備えた人材の育成を目指している（DP4）。さらに、建学の精神を基盤として、社会人基礎力、pisa型学力、直観力、自然体を統合的に涵養し、社会の中で主体的に行動できる力を育むとともに（DP5）、生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場や地域、国際社会における課題解決に貢献できる力を身に付けることを重視している（DP6）。それらを実現するために本科目では、これまでに学修した内容を踏まえ、患者、地域住民、アスリート等の多様な対象者を想定して、それぞれの生活背景や課題を的確に把握する力を養うとともに、様々な場面に踏まえた事前準備を行う。そして、実際の栄養教育に用いる媒体の作成や既存資料の活用に取り組み、適切な栄養教育を実践する。

学修内容	到達目標
① 栄養教育教材の適切な情報収集について理解する ② 栄養教育教材の作成方法を理解する ③ 対象者の課題を解決するための栄養教育を理解する	① 栄養教育に用いる適切な情報を調べ、適切に活用することができる ② リーフレットやパンフレット、スライド等の教材の特徴を理解し、わかりやすい教材を作ることができる ③ 対象者の課題解決に向けた栄養教育を実践することができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	実践に向けた具体的な草案を自ら考え、自発的に授業に臨むことができる
	働きかけ力	
	実行力	栄養教室を行うために文献や図書、インターネット等の情報を正しく収集することができる
考え抜く力	課題発見力	栄養教室を行って出てきた疑問や課題について、適切な情報源から新たに知識・技能を獲得して、更なる課題を発見することができる
	計画力	
	創造力	従来の常識や発想を転換し、自分にしかできない栄養教室を見出すことができる
チームで働く力	発信力	獲得した知識・技能を他の人にわかりやすく伝えることができる
	傾聴力	他の人の教室に参加し、多様性を理解した上で更に自分の考えに踏襲することができる
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	決められた締め切り時間やグループ内のルールを把握し、そのルールや約束を守ることができる
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

◎マスター栄養教育論 四訂 編著：佐藤香苗/安達内美子 出版社：建帛社
◎栄養教育・栄養指導論演習・実習 [第3版] 編集：堀田千津子他

【オープンエデュケーション】
栄養教育ラーニングチャンネル https://www.youtube.com/@eiyo_kyoiku_learning

【参考図書】
○伝わるデザインの基本—よい資料を作るためのレイアウトのルール 増補改訂3版 著：高橋佑磨/片山なつ

他科目との関連、資格との関連

【他科目との関連】
本科目は、「栄養教育論Ⅱ」で獲得した内容を活用し、後に履修する「臨床栄養学Ⅲ」、「栄養評価管理実習」、「在宅栄養管理論」、「臨床総合演習」に向けて栄養教育を実践的に学ぶ。

【資格との関連】
管理栄養士 栄養士 栄養教諭

学修上の助言	受講生とのルール
今まで学修した内容を基に自身で考えることがこの科目の最も重要なこととなります。また栄養教育の効果を発揮するための媒体作成や発表能力が必要となります。しっかりこれまでに学修した内容、特に栄養教育論Ⅰ・Ⅱ、応用栄養学、臨床栄養学等を復習してから履修しましょう。	グループワークや班での活動が多くなります。他の人の意見をよく聴くとともに積極的に意見を発信し、授業に臨みましょう。また、提出物は期日を必ず守りましょう。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		
			②		
			③		
	小テスト	0	①		
			②		
			③		
	レポート	40	①	✓	
			②	✓	
③					
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①			
		②	✓		
		③	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>栄養教育論Ⅱで修得した知識を活用し、ライフステージや行動変容ステージによって異なる対象者の状況を整理し、食習慣・行動の問題点を見極め、対象者主体で正しい行動変容へ向け、意欲的に取り組むことができ、且つ学修成果及び学修行動の得点率が90%以上をS、80%以上をAとする。</p>	<p>栄養教育論Ⅱで修得した知識を活用し、ライフステージや行動変容ステージによって異なる対象者の状況を整理し、食習慣・行動の問題点を見極めることができ、且つ学修成果及び学修行動の得点率が70%以上をB、60%以上をCとする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「オリエンテーション」「栄養教育教材の作成方法」授業の運営、目標、評価方法等を理解するとともに次週以降の発表教材の作成や発表の方法を考える 栄養教育教材を作成する際のポイントや実際の場面を想定した栄養教育教材(動画)の作成方法を学ぶ	講義 演習 Google Classroom	様々な場面に適した栄養教育教材について理解し、基本的な教材作成方法を身につけることができる	予習：媒体作成方法の理解が十分でない場合、栄養教育論実習Ⅰの第8～10回を復習してから授業に臨むことを推奨する 復習：実際に使用されている栄養教育教材について調べてみることを推奨する		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	「病院における栄養教育①」 病院における糖尿病教室、高血圧教室の特徴を学び、担当する教室毎に分かれる 各教室の発表に向けての計画を立案し、発表の資料を作成する	演習 グループワーク	集団指導における栄養教育の計画が立案できる 必要な栄養教育教材を選択できる	予習：臨床栄養学等を参考に糖尿病・高血圧の栄養教育のポイントを復習してから授業に臨むことを推奨する 復習：発表の準備		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	「病院における栄養教育②」 各教室の発表に向けて、教室を行う練習をする	演習 グループワーク	決められた時間内で教室を行えるように準備を整える	予習：発表の準備 復習：発表の練習		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	「病院における栄養教育③」 ○○○教室グループの発表をする 発表を聞き評価する	集団指導(栄養教育) 実技 グループワーク Google forms	プレゼン内容がわかりやすく、他のグループの発表を聴き、適切に評価できる	予習：発表の準備 復習：他グループの発表と自分たちの発表の違いを検証することを推奨する		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	「病院における栄養教育④」 ○○○教室グループの発表をする 発表を聞き評価する	集団指導(栄養教育) 実技 グループワーク Google forms	プレゼン内容がわかりやすく、他のグループの発表を聴き、適切に評価できる	予習：発表の準備 復習：他グループの発表と自分たちの発表の違いを検証することを推奨する		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	「病院における栄養教育⑤」 ○○○教室グループの発表をする 発表を聞き評価する	集団指導(栄養教育) 実技 グループワーク Google forms	プレゼン内容がわかりやすく、他のグループの発表を聴き、適切に評価できる	予習：発表の準備 復習：他グループの発表と自分たちの発表の違いを検証することを推奨する		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	「ライフステージ別の栄養教育(離乳食教室)①」 離乳食教室の栄養教育教材を作成する	講義 演習 Google Classroom	栄養教育教材(リーフレット・パンフレット)の作成、発表できるように準備ができる	予習：授乳期・乳児期への栄養教育の理解が十分でない場合、栄養教育論Ⅱの第8・9回の復習をしてから授業に臨むことを推奨する 復習：発表の準備		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	「ライフステージ別の栄養教育(離乳食教室)②」 作成した栄養教育教材を用いてグループ内で発表し合う	演習 集団指導(栄養教育) 実技 Google forms	プレゼン内容がわかりやすく、他の人の発表を聴き、適切に評価できる	予習：発表の準備 復習：他の人の発表と自分の発表の違いを検証することを推奨する		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「ライフステージ別の栄養教育（アスリートへの栄養教室）①」 高校生の部活動生を対象にした（分食による食事管理、期分けによる食事管理、夏バテ予防の食事管理）いずれかの栄養教育教材の作成を行う	演習 グループワーク	栄養教育教材（パワーポイント）の作成、発表できるように準備ができる	予習：アスリートへの栄養教育の理解が十分でない場合、栄養教育論Ⅱの第4・5回を復習してから授業に臨むことを推奨する 復習：発表の準備		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「ライフステージ別の栄養教育（アスリートへの栄養教室）②」 作成した栄養教育教材を用いてグループ内で発表し合う	演習 集団指導（栄養教育） 実技 Google forms	プレゼン内容がわかりやすく、他の人の発表を聴き、適切に評価できる	予習：発表の準備 復習：他の人の発表と自分の発表の違いを検証することを推奨する		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「ライフステージ別の栄養教育（高齢期）①」 高齢者を対象にした（フレイル予防、サルコペニア予防、冬場の脱水症予防）いずれかの栄養教育教材の作成を行う	演習 グループワーク	適切な栄養教育教材の作成、発表できるように準備ができる	予習：高齢期への栄養教育の理解が十分でない場合、栄養教育論Ⅱの第6・7回を復習してから授業に臨むことを推奨する 復習：発表の準備		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	「ライフステージ別の栄養教育（高齢期）②」 各教室の発表に向けて、教室を行う練習をする	演習 グループワーク	決められた時間内で教室を行えるように準備を整える	予習：発表の準備 復習：発表の練習		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	「ライフステージ別の栄養教育（高齢期）③」 作成した栄養教育教材を用いてグループ内で発表し合う	演習 集団指導（栄養教育） 実技 Google forms	プレゼン内容がわかりやすく、他の人の発表を聴き、適切に評価できる	予習：発表の準備 復習：他の人の発表と自分の発表の違いを検証することを推奨する		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	「未発表者の発表」 発表できなかった人が発表し合い、適切な評価をする	集団指導（栄養教育） 実技 Google forms	プレゼン内容がわかりやすく、他の人の発表を聴き、適切に評価できる	予習：発表の準備 復習：他の人の発表と自分の発表の違いを検証することを推奨する		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	「まとめ・補足」 1～14回までで身につけた知識を活用して「病院における栄養教育」の資料を見返して改善点を考えるなかで、栄養教室を行う際に気を付けるべき点をまとめる	講義 グループワーク Google forms	これまでの学修を振り返り、わかりやすい教材や教室は何かを考えることができる	予習：今までの疑問点を整理することを推奨する 復習：これまでに作成した栄養教育の内容、発表を聞いた栄養教育の内容からそれぞれの違いを整理することを推奨する		主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力